

## 3 時 限 目

「日本史」、 「世界史」、 「数学」 の3科目から1科目を選択し、 解答すること。

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。  
ただし、 マーク記入上の注意は裏表紙にあるので、 問題冊子を裏返して読んでおくこと。
2. 監督者の指示に従い、 別紙解答用紙の所定欄に氏名、 受験番号を記入すること。さらに受験番号の下のマーク欄に受験番号をマークすること。
3. 解答する科目を1つ選び、 解答用紙の科目欄にマークすること。マークされていない場合、 複数科目にマークされている場合、 または複数科目を解答した場合は採点の対象にならないので注意すること。解答用紙は表が「日本史」、 「世界史」、 裏が「数学」となっている。
4. 解答はすべて、 解答用紙の解答欄にマークすること。
5. 「数学」において分数形で解答が求められているときは、 既約分数で答えること。根号を含む形で解答が求められているときは、 根号の中に現われる自然数が最小となる形で答えること。
6. 試験時間は60分。出題科目、 ページ数はつぎのとおり。

| 出題科目 | ページ     |
|------|---------|
| 日本史  | 1 ～ 20  |
| 世界史  | 21 ～ 36 |
| 数 学  | 37 ～ 43 |

※裏表紙に続く。

# 日 本 史

第1問 次の文章(1)～(5)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 弥生時代以降、水稻耕作が普及、発展するにともなって、集落では、祭祀の道具として、銅鐸などが用いられた。また、人々は、神々の神判を知るために、 A <sup>(ア)</sup>などの呪術もおこなった。一方、大陸からは仏教が伝えられた。

6世紀後半、朝廷内部の主導権をめぐって、大連として大伴氏にかわって勢力をのばしていた物部氏と、渡来人と結んで財政権を握った大臣の蘇我氏の対立<sup>(イ)</sup>が、仏教の受容をめぐって激化した。蘇我馬子は、587年に排仏派の物部守屋を滅ぼし、592年に天皇を暗殺して政治権力を握った。推古天皇が即位すると馬子や厩戸王（聖徳太子）を中心として国政の改革が進められた。この推古天皇の時代を中心とする文化を、飛鳥文化という。

7世紀半ばには、王族中心の中央集権をめざし、大化改新と呼ばれる改革が行われた。その後、壬申の乱がおこったが、乱の際に勝利を祈願した伊勢の神が国家的な祭祀の対象となった。この乱の結果、強力な権力を手にした天武天皇<sup>(ウ)</sup>を中心<sup>(カ)</sup>に中央集権的国家体制の形成が進んだ。

問1 空欄  A  に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

1

- ① 加持祈禱      ② 盟神探湯      ③ 抜菌      ④ 大祓

問2 下線部(ア)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

2

- ① 近畿を中心に出土し、当時の生活を写す原始絵画を鋳出したものもある。  
② 細形と平形があり、前者は九州北部に分布し、後者は瀬戸内海周辺に分布する。  
③ 細形（狭鋒）と広形（広鋒）があり、九州北部を中心に分布する。  
④ 佐賀県の吉野ヶ里遺跡から多くが発見されている。

問3 下線部(イ)に関連して、「臣」、「連」の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 3

- ① 5～6世紀に服属した国造には臣の姓が与えられた。
- ② 大王家から分かれた小氏や地方有力豪族には臣の姓が与えられた。
- ③ 地名を氏とした有力豪族には連の姓が与えられた。
- ④ 職掌を氏とした有力豪族には連の姓が与えられた。

問4 下線部(ウ)の天皇として最も適切なものを、以下から選べ。 4

- ① 舒明天皇      ② 用明天皇      ③ 崇峻天皇      ④ 敏達天皇

問5 下線部(エ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 5

- ① 蘇我氏の飛鳥寺（法興寺）などの氏寺が造られた。
- ② 造東大寺司によって正倉院宝庫が建立された。
- ③ 百濟僧の觀勒によって絵の具が伝えられた。
- ④ 唐文化の影響がみられる高松塚古墳壁画が描かれた。

問6 下線部(オ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 6

- ① 大王宮を難波長柄豊碓宮から飛鳥浄御原宮に遷した。
- ② 筑紫国造磐井が、新羅と結び大規模な戦乱をおこした。
- ③ 唐から帰国した、旻や高向玄理の知識が活用された。
- ④ 大海人皇子が東国の兵の動員に成功し、大友皇子に勝利した。

問7 下線部(カ)の時代の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 7

- ① 最初の戸籍である庚午年籍がつくられた。
- ② 八色の姓により豪族の身分秩序が再編された。
- ③ 東北支配のため阿倍比羅夫が派遣された。
- ④ 藤原不比等らにより養老律令がまとめられた。

(2) 8世紀末、桓武天皇は、仏教の改革をめざし、長岡京・平安京への遷都では南都奈良の諸大寺を一つも移さなかった。そして仏教界では、最澄と空海によって、天台宗と真言宗という新しい仏教が開かれた。両宗は、密教の教えを取り入れ、現世利益を求める貴族たちの支持を集めた。仏教が広まるとともに、神社の境内に  B  を建てたり、神前で読経したりするなど、すでにおこっていた在来の神々の信仰とのあいだでの神仏習合の風潮はさらに広まっていた。

9世紀後半になると、貴族社会では藤原北家への権力集中が進み、10世紀後半には摂関政治が確立した。11世紀に入ると、都では流行病や火災が頻発し、不安な世相となった。そのうえ、末法の到来が近いという思想が流行し、貴族や庶民のあいだで阿弥陀仏の信仰がますます強まった。一方で神仏習合も進み、本地垂迹説も生まれた。

問8 空欄  B  に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

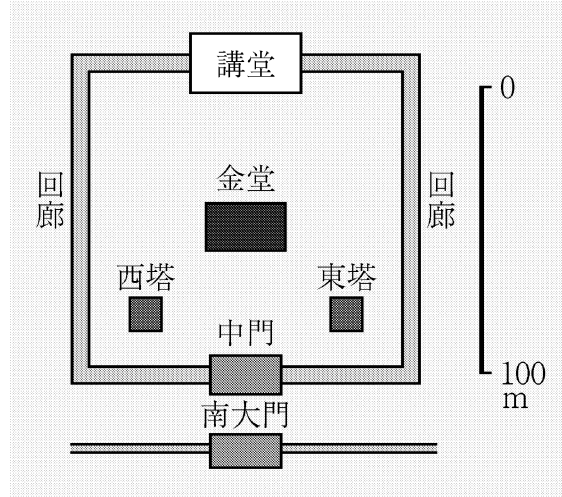
8

- ① 鎮守社                      ② 招魂社                      ③ 神宮寺                      ④ 神護寺

問9 下線部(キ)に関連して、下の図は三重塔を持つある寺院の伽藍配置図である。

この寺院の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

9



- ① 金堂内には、定朝が作製したとされる釈迦三尊像がある。
- ② 回廊は、旧山田寺回廊遺材に続く世界最古の木造建築である。
- ③ 南大門を中心として朱雀大路が走っている。
- ④ 東塔の各層には裳階がついている。

問10 下線部(ク)の人物の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

10

- ① 比叡山で修行し、南都諸宗に反論した『顕戒論』を著した。
- ② 唐風の能書家として、三筆の一人に数えられた。
- ③ 貧窮者・孤児の救済施設である、悲田院を設置した。
- ④ 庶民への学芸教授のため、綜芸種智院を設けた。

問11 下線部(ケ)に関連して、当時の信仰に関わりのある作品の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 11

- ① 高野山聖衆来迎図には、阿弥陀如来が諸仏を率いる姿が描かれている。
- ② 薬師寺僧形八幡神像は神の姿が僧形であらわされている。
- ③ 『教行信証』は念仏から得られる真実の仏身・仏土を説いている。
- ④ 『粉河寺縁起絵巻』には、本尊の千手観音像造立の霊験が描かれている。

問12 下線部(コ)に関連して、藤原氏によって排斥された人物について述べた文 X～Z について、古いものから年代順に配列したものとして最も適切なものを、以下から選べ。 12

X この人物は、子の伴中庸を使って応天門に放火したことが発覚し流罪に処せられた。

Y この人物は、嫁婿の齊世親王の即位を企てたとして、大宰権帥に左遷された。

Z この人物は、安和の変で左大臣を罷免され、大宰権帥に左遷された。

- ① X → Y → Z
- ② X → Z → Y
- ③ Y → X → Z
- ④ Z → Y → X

問13 下線部(サ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 13

- ① 藤原道長は、3天皇の50年にわたって摂政・関白を務めた。
- ② 摂政・関白は、新たに創設された検非違使に御所を警備させた。
- ③ 摂政・関白は、藤原氏の「氏長者」を兼ねた。
- ④ 醍醐天皇の時代には、藤原良房が摂政・関白を務めた。

(3) 1086 (応徳3) 年、白河天皇は、にわかには幼少の堀河天皇に位をゆずると、みづから上皇 (院) として、院庁を開き、院政を開始した。院政は、白河上皇、鳥羽上皇、後白河上皇と100年余りも続いた。3上皇はいずれも仏教に対して信仰があつく、出家して法皇となり、六勝寺などの多くの大寺院を造らせたり、紀伊の C にたびたび参詣したりした。これらの費用は成功などによってまかなわれた。

院政期には、大寺院も多くの荘園を所有し、下級僧侶を僧兵として組織し、<sup>(七)</sup> 国司と争い、朝廷に強訴して要求を通そうとした。朝廷は、武士を用いて警護や鎮圧に当たらせため、武士の中央政界への進出をまねくことになった。特に、平清盛は保元の乱と平治の乱を通じて急速に地位と権力を強め、平氏政権の基礎を固めることに成功した。

問14 空欄 C に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

14

- ① 熊野三山と法勝寺
- ② 熊野三山と高野山
- ③ 法勝寺と吉野山
- ④ 吉野山と高野山

問15 下線部(七)の人物の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

15

- ① 紀貫之らに『古今和歌集』の編纂を命じた。
- ② 当時流行した歌謡である今様を学び、『梁塵秘抄』を編んだ。
- ③ 延久の荘園整理令を発し、荘園の整理を進めた。
- ④ 皇女八条院暲子に大量の荘園を与えた。

問16 下線部(八)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

16

- ① 力役負担の代わりとして庸布を納めること。
- ② 春に稲を貸しつけ秋に利息つきで回収すること。
- ③ 官職や位階をうけるため、一定の財物を官に納めること。
- ④ 一種の税を強制的に荘園領主から上皇に納付させること。

問17 下線部(セ)について述べた文章として最も適切なものを、以下から選べ。

17

- ① 『中右記』は、南都北嶺の僧兵を天狗にたとえて風刺している。
- ② 蜂起の様子は、「異類異形ナルアリサマ、人倫ニ異ナリ」と語られた。
- ③ 『愚管抄』には、「……山法師、これぞ朕の心に随はぬ者」とある。
- ④ 興福寺の僧兵が、春日神社の神木の榊を捧げて要求を通そうとした。

問18 下線部(ソ)について述べた文章として最も適切なものを、以下から選べ。

18

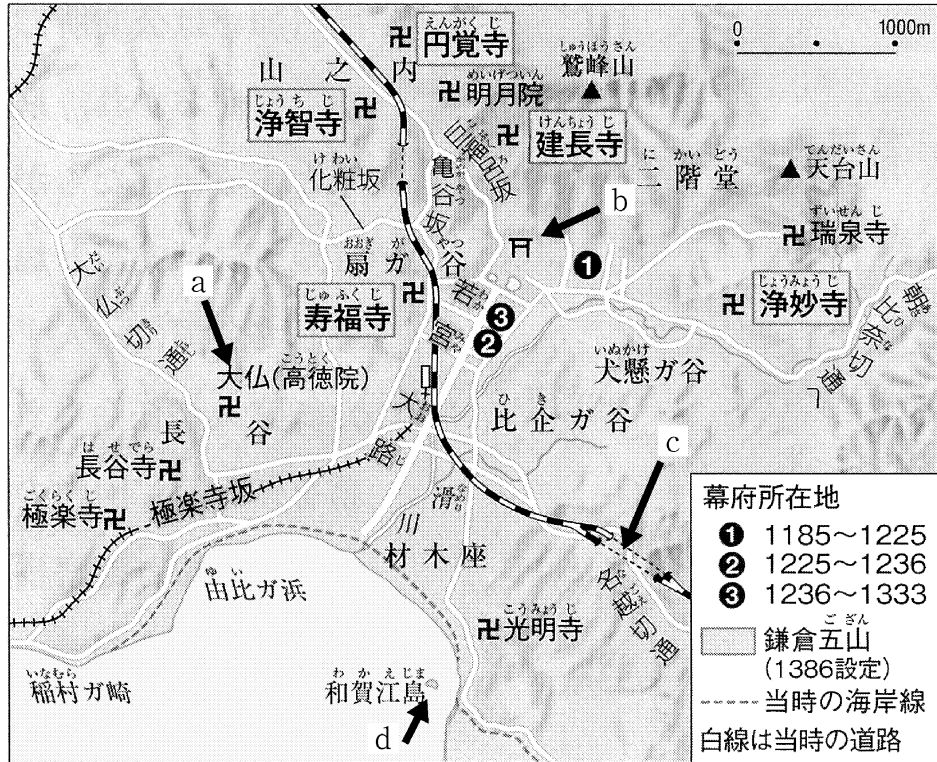
- ① 藤原信頼は源義朝とこの乱をおこすが、敗れた。
- ② 『栄華物語』は、この乱以後、「武者の世」になったと記す。
- ③ この乱に敗れた後白河天皇は、讃岐に流された。
- ④ この乱の原因の一つは、後白河天皇と崇徳上皇の不和であった。

(4) 1221（承久3）年の承久の乱後、鎌倉幕府は執権北条泰時の時に、御成敗式目（貞永式目）51カ条を制定した。<sup>(タ)</sup>御家人が守るべきこととしてその第1条で「神社を修理し、祭祀を専らにすべき事」と定めた。鎌倉時代には武士や庶民の心を救う新仏教もあらわれた。鎌倉時代末期には、日本は神に守られているという神国思想も高まった。また、度会家行が独自の神道理論を形成した。<sup>(チ)</sup>室町時代には、東山文化の時期に、反本地垂迹説（神本仏迹説）にもとづく、<sup>(ツ)</sup>唯一神道が完成した。



問19 下線部(夕)に関連して、下の図は幕府所在地となった鎌倉の要図である。図中に示したa～dについて述べた文章として最も適切なものを、以下から選べ。

19



『日本史B』山川出版社 (2019年)

- ① 京都から鎌倉に入る人々の目に入るaの大仏は、盧舎那仏坐像で、大仏師国中公麻呂らにより造立された。
- ② 由比ガ浜から伸びる若宮大路の北に位置するbの神社は、源氏・鎌倉の守護人として崇拝された石清水八幡宮である。
- ③ cの名越切通は、治安維持を目的に、「入鉄砲に出女」を厳しく取り締まった。
- ④ dに位置する和賀江島は、鎌倉への物資の搬入を容易にするために築かれた人工島である。

問20 下線部(ア)の人物の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 20

- ① 『源氏物語』などの古典研究を進めて復古神道を主張した。
- ② 伊勢神道を創始し、『類聚神祇本源』を著した。
- ③ 京都で神道を儒教流に解釈して、垂加神道を説いた。
- ④ 京都吉田神社の神職で、本姓は卜部氏である。

問21 下線部(イ)について述べた文章として最も適切なものを、以下から選べ。

21

- ① 禅宗の影響を受け枯淡幽玄の芸術が開花した。
- ② 世相や風俗を風刺する川柳が人気を集めた。
- ③ 和歌に言葉のもじりなどの滑稽味を取り入れた狂歌が流行した。
- ④ 蘭溪道隆などにより南宋や元の文化がもたらされた。

(5) 江戸幕府は、島原の乱後、仏教への転宗を強制するなどキリスト教に対してきびしい監視(ア)を続けていった。その後、幕府は、1665（寛文5）年に諸宗寺院法度を出し、さらに同年、神社・神職を統制する法令を出した。(イ)

文化・文政期に入ると、有名な寺社でおこなわれるもよおしが多くの人びと(ア)を集め、また、伊勢神宮への参詣など遠隔地の寺院や神社を参詣したりする旅(イ)が流行した。

問22 下線部(イ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 22

- ① この乱では、キリシタン大名が乱の首領となった。
- ② この乱は、領主の圧政に反抗したキリシタン農民らの一揆であった。
- ③ この乱の結果、宣教師ルイス・フロイス・キリスト教信者ら55人が処刑された。
- ④ この乱の結果、高山右近ら300人余りがマニラに追放された。

問23 下線部(ト)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

23

- ① 修験道・陰陽道なども禁圧した。
- ② 幕府に宗門改役を新設した。
- ③ 結婚・旅行などの際に寺請証文の発行を求めた。
- ④ 宗派を超えて仏教寺院の僧侶全体を共通に統制した。

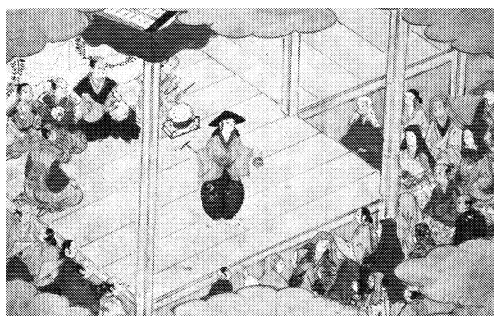
問24 下線部(ナ)を描いた絵として最も適切なものを、以下から選べ。

24

①



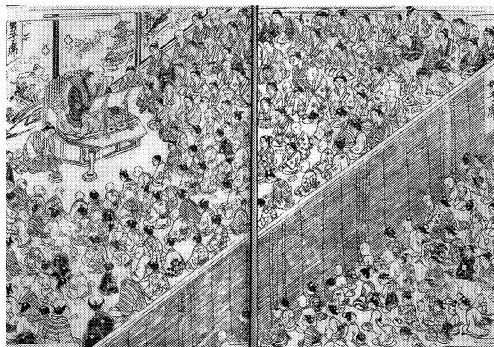
②



③



④



問25 下線部(ニ)について述べた文章として最も適切なものを、以下から選べ。

25

- ① 室町後期から庶民の間で流行し、神祇祭祀をつかさどる神祇官が集参の便宜を図った。
- ② 『伊勢物語』では、遠江・三河・尾張を中心とする東海道周辺で起こった御札の降下が描かれている。
- ③ 室町時代から民衆行事化し、江戸時代には伊勢講が発達し、本人に代わって参詣する代参講なども習慣化した。
- ④ 四国巡礼と合わせておこなうことは御蔭参りとよばれ、特に近畿地方を中心に盛行した。

第2問 次の文章(1)～(2)を読んで、以下の問いに答えよ。

(1) 征韓論は大久保利通らの反対によって挫折したが、1876（明治9）年に日朝修好条規（江華条約）が結ばれ、朝鮮は開国した。その後、日本は韓国を保護国化し、さらに1910年に韓国併合に関する条約（韓国併合条約）を結んで、韓国を併合した。第二次世界大戦終了とともに朝鮮は日本の支配から解放された。1950（昭和25）年に朝鮮戦争が勃発した。

日本は清国と1871年に日清修好条規を結んだが、その後、琉球の帰属をめぐって対立した。さらに1874年に日本は台湾に出兵した。1894年の朝鮮での農民反乱（甲午農民戦争・東学の乱）に対して、清と日本は朝鮮へ出兵し、日清戦争が始まった。1895年に下関条約（日清講和条約）が結ばれた。列強による中国分割に対して、1900年に義和団の乱（義和団事件）がおきた。1911年の辛亥革命によって清国は滅んだが、中国内で旧勢力が分立した。1928年の張作霖爆殺、さらには1931年の柳条湖事件を経て、日本は1933年に国際連盟脱退を通告するに至り、本格的な日中戦争さらには第二次世界大戦へ突入していった。

第二次世界大戦の敗戦後、日本は連合国により管理されていたが、1952年に占領が終了した。1956年に国際連合に加盟し国際社会へ復帰した。経済に関しても1964年に国際通貨基金（IMF）8条国になった。この間の高度経済成長期には通商においても国際社会に復帰していった。

問1 下線部(ア)の条文として最も適切なものを、以下から選べ。 26

- ① 我等ハ茲ニ我朝鮮国ノ独立タルコト及朝鮮人ノ自由民タルコトヲ宣言ス。  
此ヲ以テ世界万邦ニ告グ人道平等ノ大義ヲ克明シ、此ヲ以テ子孫万代ニ諮  
へ民族自存ノ正権ヲ永有セシム。
- ② 日本国人民、朝鮮国指定ノ各口ニ在留中、若シ罪科ヲ犯シ朝鮮国人民ニ  
交渉スル事件ハ、総テ日本国官員ノ審断ニ帰スヘシ。
- ③ 韓国政府ハ日本政府ノ推薦スル日本人一名ヲ財務顧問トシテ韓国政府ニ  
傭聘シ、財務ニ関スル事項ハ総テ其意見ヲ詢ヒ施行スヘシ
- ④ 両国好ミヲ通セシ上ハ必ス相関切ス。若シ他国ヨリ不公及ヒ輕藐スル事  
有ル時其知ラセヲ為サバ、何レモ互ニ相助ケ或ハ中ニ入り、程克ク取扱ヒ  
友誼ヲ敦クスベシ。

問2 下線部(イ)の条文として最も適切なものを、以下から選べ。 27

- ① 日本国政府ハ、在東京外務省ニ依リ今後韓国ノ外国ニ対スル關係及事務  
ヲ監理指揮スヘク、日本国ノ外交代表者及領事ハ外国ニ於ケル韓国ノ臣民  
及利益ヲ保護スヘシ
- ② 右同盟国ノ目的ハ、日本国ヨリ...太平洋ニ於ケル一切ノ島嶼ヲ剥奪スル  
コト、並ニ滿洲、台湾及澎湖島ノ如キ日本国カ清国人ヨリ盜取シタル一切  
ノ地域ヲ中華民國ニ返還スルコトニ在リ
- ③ 兩締約国ハ、大使の資格を有する外交使節を遲滞なく交換するものとする。  
また、兩締約国ハ兩國政府により合意される場所に領事館を設置する。
- ④ 韓国皇帝陛下ハ韓国全部ニ関スル一切ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本国皇  
帝陛下ニ讓与ス

問3 下線部(ウ)に関して韓国併合後の朝鮮の状況についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 28

- ① 京城に統監府を置いて寺内正毅を初代の統監とした。
- ② 日本よりの閔氏一族に反対して軍隊が反乱を起こし、民衆も日本公使館を包囲した。
- ③ 樺山資紀を総督に任命して、民衆の抵抗を武力で抑えようとした。
- ④ 日本政府は朝鮮で土地調査事業を行い、多くの農地・山林を接収した。

問4 下線部(エ)の後の朝鮮の状況についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 29

- ① 中華民国による支援で朝鮮民主主義人民共和国が生まれた。
- ② いったんは朝鮮半島全土をソ連軍が支配した。
- ③ 北緯38度線より北をソ連軍、南をアメリカ軍が占領した。
- ④ ソ連の支配下で大韓民国が建国された。

問5 下線部(オ)の日本への影響についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 30

- ① ソ連への輸出が増加し好況となった。
- ② 日本国内においても深刻な物資不足を招いた。
- ③ アメリカ軍からの需要によって景気が回復した。
- ④ 中国との貿易が縮小したため不況に陥った。

問6 下線部(カ)の結果についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

31

- ① 清国は台湾を日本に譲った。
- ② 天津条約が結ばれ、清国は撤兵した。
- ③ 清国は事実上の賠償金を支払った。
- ④ 台湾で日本へ抵抗する義兵運動が起きた。

問7 下線部(キ)の内容についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

32

- ① 清国は朝鮮を日本に割譲した。
- ② 清国から日本への賠償金は認められなかった。
- ③ 日本による満州の支配が認められた。
- ④ 清国は朝鮮の独立を認めた。

問8 下線部(ク)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

33

- ① 清国も義和団に同調して列国に宣戦布告した。
- ② 清国はアメリカと結んで列国と対立した。
- ③ 清国は無策でまったく対応しなかった。
- ④ 清国は列国と同調して義和団を攻撃した。

問9 下線部(ケ)に対する日本政府の対応についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

34

- ① 内閣は不拡大方針を声明したが、成功せず内閣総辞職した。
- ② 内閣は石原莞爾を登用して満州での利権拡大を図った。
- ③ 内閣は東方会議を開いて中国と直接交渉したが、青年将校によるクーデタで倒された。
- ④ 内閣は首謀者の停職だけで収めようとしたが、天皇の不興をこうむって総辞職した。



問10 下線部(コ)に関して古い出来事から並べた順序として最も適切なものを、以下から選べ。 35

- ① 国際連合加盟 → 第1次日米安全保障条約調印 → 日ソ復交に関する日ソ共同宣言調印
- ② 第1次日米安全保障条約調印 → 日ソ復交に関する日ソ共同宣言調印 → 国際連合加盟
- ③ 国際連合加盟 → 日ソ復交に関する日ソ共同宣言調印 → 第1次日米安全保障条約調印
- ④ 日ソ復交に関する日ソ共同宣言調印 → 国際連合加盟 → 第1次日米安全保障条約調印

問11 下線部(サ)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 36

- ① 国際通貨基金へ資金拠出する義務を負う。
- ② 自国通貨の為替相場をアメリカ＝ドルに対して固定する。
- ③ 貿易など海外との経常取引の支払いを制限できない。
- ④ 海外への投資に対して制限を設けなければならない。

問12 下線部(シ)における国際収支の動向についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 37

- ① 1960年代末まで貿易赤字だったが、その後に自動車などの輸出が増加し黒字に転じた。
- ② 1970年代前半まで石油など原材料輸入が増加し貿易赤字が続いた。
- ③ 1960年代後半から輸出が増加し大幅な貿易黒字となった。
- ④ 1950年代半ばから軽工業品の輸出が大きく貿易黒字が続いた。

(2) 明治政府は1871（明治4）年に新貨条例を制定し、新たな通貨制度を定めた。1872年に国立銀行条例によって金融制度の整備を目指したが、多くの問題が生じた。1882年に日本銀行を設立し、1897年に貨幣法を定め、資本主義の本格的成立を金融面から支えた。

1917（大正6）年から金輸出禁止が続いていた状況下で、1927（昭和2）年に田中義一内閣はモラトリアム（支払猶予令）を発令した。1929年に浜口雄幸首相は井上準之助を蔵相に任命し、翌1930年に金輸出解禁を行った。ところが、1931年に経済対策として高橋是清蔵相は金輸出再禁止し、続いて円の金兌換停止を決定し、Aに移行した。

第二次世界大戦後、第3次吉田茂内閣の下で1ドル=360円の単一為替レートが制定された。1960年代からアメリカは国際収支が悪化し金準備が減少したため、1971年にアメリカ政府は金・ドル交換停止や10%の輸入課徴金などを実施した。

1973年にBをきっかけとして第1次石油危機が起き、1974年には日本はマイナス経済成長に陥った。

問13 空欄 A B に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

- |    |   |          |           |
|----|---|----------|-----------|
| 38 | A | ① 固定為替制度 | ② 管理通貨制度  |
|    |   | ③ 複本位制   | ④ 金本位制    |
| 39 | B | ① イラン革命  | ② ソ連崩壊    |
|    |   | ③ スエズ戦争  | ④ 第4次中東戦争 |

問14 下線部(ス)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 40

- ① 金本位制をたてまえとした。
- ② 国立銀行券を新たに発行した。
- ③ 金・銀・銭の三貨を流通させた。
- ④ 十二進法と二十進法を併用した。

問15 下線部(セ)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 41

- ① 民間の銀行で、複数の銀行が設立された。
- ② 貿易振興を目的とする特殊銀行だった。
- ③ 銀行券の発行は認められていなかった。
- ④ 後に日本銀行へと発展した。

問16 下線部(ソ)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 42

- ① 1885年から銀兌換の銀行券を発行した。
- ② 1890年まで不換紙幣の発行が認められていた。
- ③ 1886年から金兌換の政府紙幣を発行した。
- ④ 1882年から金銀複本位制を採用した。

問17 下線部(タ)に関連して日本の産業革命進展期における日本の貿易についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 43

- ① 綿花・機械・鉄など原材料輸入を主因として、大幅な輸入超過だった。
- ② 綿織物など軽工業品輸出を主因として、輸出超過だった。
- ③ 綿花・機械・鉄など消費財輸入減少を主因として、輸出入が均衡していった。
- ④ 生糸・米など消費財輸出を主因として、輸出超過だった。

問18 下線部(チ)の影響についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

44

- ① 外国為替相場は安定し、景気を上昇させた。
- ② 外国為替相場は上昇傾向となった。
- ③ 外国為替相場は動揺と下落を繰り返した。
- ④ 外国為替相場では円が下落し、景気を安定させた。

問19 下線部(ツ)の影響についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

45

- ① 金融機関の資金繰りを悪化させ金融危機を招いた。
- ② 日本銀行による緊急融資と合わせて金融恐慌を終息させた。
- ③ 多額の不良債権を抱えた台湾銀行を解散に追い込んだ。
- ④ 株式相場が急落し、深刻な戦後恐慌が引き起こされた。

問20 下線部(テ)の金輸出解禁論として最も適切なものを、以下から選べ。

46

- ① 金本位実施ノ必要モハヤ疑ヲ容レス。依テ爾来 専ラ金吸収ノ方策ヲ求メタリ。恰モ好シ下ノ関条約ニ依リ清国ハ償金貳億兩ヲ支払フコトヲ約セリ。
- ② 極力経費の節減をはかり、また必要であり、かつ適当なりと考えられる手段を最大限度に講じて真に総予算の均衡をはかること。
- ③ 地租改正施行相成候上ハ、土地ノ原価ニ随ヒ賦税致シ候ニ付、以後仮令豊熟ノ年ト雖モ増税申シ付ケサルハ勿論、違作ノ年柄之有リ候トモ減租ノ儀一切相成ラス候事
- ④ 政府は財政を緊縮する、其の態度を国民が理解して国民も消費節約をなし、…茲に物価も下る大勢が出て来る。輸入も減るだけの状態になります。さうなると、為替相場もずっと上って参ります。

問21 下線部(ト)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

47

- ① 大量の金が流入し賃金上昇によってインフレが起きた。
- ② あわせて緊縮財政によって景気回復が図られた。
- ③ 世界恐慌の余波を受けて輸出が減少し恐慌が起きた。
- ④ 統制経済から自由経済への転換点となった。

問22 下線部(+)の影響についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

48

- ① 実態よりも円高だったので輸入が増加し、貿易収支の赤字へつながった。
- ② 実態よりも円高だったので、省エネ型の産業に切り替わっていった。
- ③ 実態よりも円安だったので原材料の輸入が促進された。
- ④ 実態よりも円安だったので輸出が促進され、経済成長へつながった。

問23 下線部(=)への日本による対策についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

49

- ① 日本も輸出課徴金を課して輸出を抑制した。
- ② 対ドル為替レートを切り上げ、さらに変動為替相場制へ移行していった。
- ③ 欧米との貿易摩擦を避けるため減量経営を奨励した。
- ④ 輸出を自主規制し、農産物の輸入を自由化した。

問24 下線部(≠)の影響についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。

50

- ① 原油価格が高騰し狂乱物価の一因となった。
- ② 輸入拡大したため日本は欧米より打撃が大きかった。
- ③ 円高が加速しバブル経済を発生させた。
- ④ 金融機関の経営を悪化させ長期不況を招いた。